

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	農業被害の軽減に向けたイノシシの捕獲の推進 (狩猟期イノシシ捕獲拡大事業)				部(局)	環境部	
					所管課	自然鳥獣共生課	
					担当班	被害対策班	
					連絡先	078-362-3463	
開始年度	平成30年度	終了年度	—	関連計画等	第3期イノシシ管理計画 (R4.4改定)		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	県
事業目的	イノシシによる農業被害の軽減のため、狩猟期におけるイノシシの捕獲に対して報償金を支給し、捕獲拡大を図る。 目標捕獲頭数：25,000頭/年 ※一般有害：15,000頭 狩猟期：10,000頭 (うち狩猟期イノシシ捕獲拡大事業：7,000頭/年)						
事業概要	(1) 捕獲報償金の支給 ア 処理加工施設への搬入あり 国庫10/10 イ 処理加工施設への搬入なし 県1/10 市町1/10 特交8/10 (2) ICT大型捕獲おり、わな用捕獲センサーの整備や技術指導の実施						
これまでの改善状況	(令和元年度の改善) 農業者の捕獲意欲を高めるため、令和元年度よりICTワナ等の対応整備や技術指導を進めており、狩猟者に加えて農業者にワナ免許所持者が増加し、捕獲頭数の増加につながっている。						
業務フロー	(1) 捕獲報償金の支給 <p>狩猟者の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> → 農林振興事務所へ申請 → 狩猟者等は毎月農林振興事務所へ捕獲実績を報告 (農林振興事務所から自然鳥獣共生課へ情報共有) → 狩猟期間終了後に自然鳥獣共生課から農林振興事務所に令達 → 狩猟者等へ交付 <p>捕獲個体の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 狩猟者等 (申請者) → 自家消費・埋設 狩猟者等 (申請者) → 報告用伝票 → 処理加工施設 → 搬入 (2) ICT大型捕獲おり、わな用捕獲センサーの整備や技術指導の実施 申請(狩猟者等) → 受付(県・市町) → 貸与交付(県・市町) → (狩猟者等)						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
	事業費①		28,502千円	17,002千円	41,779千円	34,645千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	1,713千円	2,561千円	2,159千円	2,245千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	26,789千円	14,441千円	39,620千円	32,400千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(3,157千円)	(14,441千円)	(10,400千円)	(10,400千円)	
		(特定)	(24,451千円)	(0千円)	(24,500千円)	(19,600千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(894千円)	(2,561千円)	(6,879千円)	(4,645千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		40,320千円	41,335千円	41,779千円	34,645千円	
	執行率((①/②)×100)		70.7%	41.1%	100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.7人	従事人員 0.7人	従事人員 0.7人	従事人員 0.7人	
			5,807千円	5,756千円	6,033千円	6,032千円	
職員給与費	a	5,031千円	4,971千円	5,257千円	5,247千円		
賞与引当金繰入額	b	406千円	400千円	406千円	400千円		
退職手当引当金繰入額	c	370千円	385千円	370千円	385千円		
総コスト(①+③)		34,309千円	22,758千円	47,812千円	40,677千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①) イノシシによる農林業被害額	目標	176,501	170,324	164,363	158,610
実績(見込)			181,862	218,035	集計中	(158,610)	
(単位当たりコスト)			-	-	-	-	
達成率(見込)			97.1%	78.1%	-	100.0%	
成果指標(アウトカム指標②) 狩猟期イノシシ捕獲拡大事業における捕獲頭数		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	7,000頭 【令和8年度】
		実績(見込)	3,556	2,147	(3,075)	(4,000)	
		(単位当たりコスト)	(10千円)	(16千円)	(11千円)	(9千円)	
		達成率(見込)	88.9%	53.7%	76.9%	100.0%	
成果指標(アウトカム指標③)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
指標	活動指標(アウトプット指標①) 狩猟期イノシシ捕獲拡大事業の申請者数	目標	-	-	-	135	1,000人 【令和8年度】
		実績(見込)	371	141	111	(135)	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
目標	終期設定	有 ()					無
	改善基準	-					

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
	自己評価	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	R3年度に県内で豚熱が発生したことによるイノシシの商品価値低下に伴い、狩猟者等の捕獲意欲に減退がみられる。また、捕獲報償金の一部については、淡路地域のみで事業実施されており、活用が低調である。
○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		農業者の捕獲意欲を高めるため、令和元年度よりICTワナ等の対応整備や技術指導を進めており、イノシシによる農業被害対策の必要性について理解の向上に努めている。	このため、豚熱による商品価値低下の中においても狩猟者等の捕獲意欲を高めるための手法を検討し、イノシシの更なる捕獲拡大を図る。

評価	課題・今後の方向性	
	改善 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	説明 } ・狩猟者等の捕獲意欲を高めるための手法を検討し、イノシシの更なる捕獲拡大を図る。 ・豚熱感染確認地域においても安全にジビエを活用できる手法 ・全県で実施可能な狩猟者等の捕獲意欲を高めるための支援

外部委員会意見
・イノシシの捕獲意欲を高めるには、儲かるということが不可欠である。 ・狩猟者を増やすことにも務められたい。猟友会の意識のアップデートや世代別の猟友会の形成などを検討し、若い人も入りやすくなるよう取組まれたい。 ・豚熱に対するPCR検査費の負担がネックとなり、食用として活用出来ず狩猟数が減っているのであれば、検査費補助を市に呼びかけてはどうか。淡路市の事例を他市に紹介されたい。

改善結果
・令和6年度より豚熱PCR検査費用の一部補助を全県で実施予定とする。それにより、処理加工施設による受入れ体制の整備や、狩猟者の狩猟意欲の向上に繋がることが期待される。